

16. 窩溝填塞（フィッシャーシーラント）

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うことの説明ができる
- ・ 必要器材を用意できる
- ・ 処置対象歯の防湿が確実にできる
- ・ 歯面清掃ができる
- ・ 歯面処理・填塞ができる
- ・ 咬合調整ができる
- ・ 術後説明ができる
- ・ 後片付けができる

<設定場面>

6歳男児。萌出直後の右下6番のう蝕を心配して母親と来院した。

<治療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：衛生士、助手に今日の治療内容を伝え、助手に患者の誘導を、衛生士に処置内容の説明を指示する。

助手：患者を誘導する。

衛生士：患者に今日の処置内容を説明する。

2. 処置対象歯の防湿 必要器材：ラバーダムセット

歯科医師：衛生士に処置対象歯の防湿を指示する。

衛生士：対象歯の防湿を行う。

3. 歯面清掃 必要器材：ポリッシングブラシ、歯面研磨剤

歯科医師：衛生士に歯面清掃を指示する。

衛生士：研磨剤を歯面に置き、ポリッシングブラシで研磨する。

研磨剤を洗い流す。

4. 歯面処理・填塞 必要器材：窩溝填塞材セット、ストップウォッチ、
光重合器（必要に応じて）

歯科医師：衛生士に歯面処理と填塞を指示する。

衛生士：清掃した小窩裂溝に処理液を滴下する。

歯面処理した面より広がらないように填塞材を流し込む。

不足部分には筆・探針などで填塞材を誘導する。

（光重合型は光照射を行う）

5. 咬合調整 必要器材：咬合紙、咬合紙ホルダー、低速切削具、フッ化物
歯科医師：衛生士に咬合調整を指示する。

衛生士：防湿をはずし、咬合紙をタッピングさせ、咬合紙の圧痕がついた部分は比較的大きめのラウンドバーなどで削去する。

フッ化物を咬合面に塗布し、過剰に歯面処理した部分の保護を図る。

簡易防湿下で傷付けた歯頸部に JG を貼薬する。

6. 後処置

歯科医師：仕上がりをチェックし、衛生士に処置の終了と術後説明を指示する。

衛生士：処置終了を告げ、術後の注意を行う。

助手：後片付けを行う。

16. 窩溝填塞（フィッシャーシーラント）

必要器材

- ①ラバーダムセット
- ②ポリッシングブラシ
- ③歯面研磨剤
- ④窩溝填塞材セット
- ⑤ストップウォッチ
- ⑥光重合器(必要に応じて)
- ⑦咬合紙
- ⑧咬合紙ホルダー
- ⑨低速切削具
- ⑩フッ化物